

平成29年12月定例教育委員会会議録

1 日 時

平成29年12月27日（水）午後3時30分から午後5時00分まで

2 場 所

唐津市役所大手口別館6階会議室

3 出席者

(1) 教育長

稲葉継雄

(2) 教育委員

富永祐司、森田淳、坂本恭子、宮崎美和

(3) 事務局

教育部長 金嶽栄作、教育副部長 中尾修二、教育総務課長 栗原達也、学校教育課長 佐々木講吉、学校支援課長 櫻井実規子、東部学校給食センター所長 荒田良二、近代図書館長 橋爪伸子、幼稚園長 加茂律子、浜玉市民センター総務教育課長 内山茂昭、厳木市民センター総務教育課長 東島千尋、相知市民センター総務教育課長 黒木寿昭、北波多市民センター総務教育課長 小松章信、肥前市民センター総務教育課長 増田勉、鎮西市民センター総務教育課長 北村武則、呼子市民センター総務教育課長 野上安国、七山市民センター総務教育課長 鬼木和俊、教育総務課係長 中村勝、教育総務課係長 岡田和幸、教育総務課主査 古賀幹子

4 議 題

(1) 協議事項

① 平成30年成人式の教育委員の会場割り振りについて

(2) 報告事項

① 教育長報告

② 各課報告事項

- ・ 1 2 月市議会の報告について
- ・ 竹木場小学校用地の一部の移管について
- ・ 学校教育に関する諸報告について
- ・ リサイクルブックフェアについて
- ・ Matsu-nami 展について
- ・ 共催及び後援について

③ その他

- ・ 教育委員会行事予定

【定例会】

午後3時30分 開会を告げる。

稲葉教育長は、本日の会議録署名委員として坂本委員を指名した。

稲葉教育長は、前回の定例会の会議録について会議に諮り、委員会はこれを承認した。

○教育長（稲葉継雄君）

それでは、おそろいのようなので、今年最後の12月定例教育委員会を始めさせていただきます。

今回、議題はございませんので、協議事項から入らせていただきます。

協議事項1、平成30年度成人式の教育委員の会場割り振りについて生涯学習文化財課からお願いします。

○教育副部長（中尾修二君）

生涯学習文化財課です。議案集1ページをご覧ください。各地区の成人式の日程について記載しています。

毎年のことですが、委員さん方には、どこかに参加いただいているということがございますので、来賓として、御参加をお願いしたいと思います。右側に平成29年1月成人式の委員さん方に出席いただいた分を書いております。

○教育長（稲葉継雄君）

この日程表については、昨年、富永委員さんから時系列で書いたものにしたほうが良いという意見がありましたよ。

○教育副部長（中尾修二君）

すみません。忘れておりました。行政順に書いております。申し訳ありませんでした。

○教育長（稲葉継雄君）

今の時点で、委員さん、ここに行けるというのがありましたら。

○教育委員（森田 淳君）

私は、平成29年と同じく鎮西に参ります。

○教育長（稲葉継雄君）

ほかの委員さん、どうですか。

○教育委員（宮崎美和君）

私は、浜玉に行きます。

○教育委員（坂本恭子君）

私は、呼子に行きます。

○教育委員（富永祐司君）

私は、北波多会場に行きます。

○教育長（稲葉継雄君）

5日は無理ですかね。

○教育委員（富永祐司君）

5日、肥前ですね。では、肥前にも行きます。

○教育長（稲葉継雄君）

はい。そうなると、坂本さん、6日はどうですかね。

○教育委員（坂本恭子君）

そうですね、去年は巖木に行ったので、今度は七山に行きます。

○教育長（稲葉継雄君）

そしたら僕が、相知と、唐津会場に行きます。

○教育長（稲葉継雄君）

それでは、復唱します。

唐津、稲葉。浜玉、宮崎委員。巖木は無し。相知、稲葉。北波多と肥前、富永委員。鎮西、森田委員。呼子と七山は坂本委員でございます。

○教育副部長（中尾修二君）

はい、ありがとうございました。

○教育長（稲葉継雄君）

よろしく申し上げます。

○教育副部長（中尾修二君）

よろしく申し上げます。

○教育長（稲葉継雄君）

続きまして、報告事項に参ります。

教育長報告でございます。教育長日誌（抄）をご覧ください。

1 1月29日、平成29年度十市教育行政主管者会議です。佐賀県内には10の市がありますけど、その教育行政主管者会議ということで、市持ち回りで行ってございまして、今回は唐津で行われました。

別紙（1）をご覧ください。一番下が唐津市であります。要は主催ですから課長にずらり並んでいただきまして、教育長も出席いたしました。他市は課長補佐とか、係長とか、その辺りが出席していました。例年こういう感じでしょうね。協議・質問事項については、裏面に記載しているとおりです。

後でゆっくりご覧ください。各市がいろんな問題を抱えていることが分かります。お互いに課題があるということでございます。これは、その程度にしておきます。

1 2月2日、郷土先覚者顕彰祭でございました。

この郷土先覚者顕彰祭というのは、ここに書いておりますように、昭和2年、ちょうど今から90年前に発足してございまして、何回か中断してございます。最初は太平洋戦争でもって中断、それから、昭和26年前後に再開されたんですが、昭和63年になって、また休会に陥ったと。そして、平成4年に再開されて、今また再休会に入ろうということでございます。事務局の負担も大変だし、会費を集めるのもなかなか難しいという状況で、一旦休止しようということになりました。

今年の記念講演でございまして、毛利一幸さんにしてもらいました。商業高校の若桐同窓会長さんに「柿村重松氏の生涯」ということで講演をしていただきました。

柿村重松先生は、唐津商業学校、現在の唐津商業高等学校の校歌の作詞者であります。唐津の生まれで、旧制唐津中学校を中退されて、最終的には東京高等師範学校、現在の筑波大学ですね、その卒業で、漢学者であります。漢学の業績で、帝国学士院賞とか、なかんずく学士院恩賜賞を受けられた立派な学者さんであります。その生涯について講演をしていただきました。

1 7日、市民合唱団「唐津」を歌う会第1回定期演奏会でございます。

昨年、九州交響楽団の伴奏でもって、皆さんで事実上の第1回公演があったわけですが、今回は市民の力で手作りの発表会であります。ピアノの伴奏でした。

出演者はここに書いてあるとおりで、女性陣は結構充実していますが、男の歌い手がなかなか集まりませんで、テノール7人、バスが9人ということであります。子どもパートもありますから、募集して14人に出してもらいました。小学校の内訳を知りたかったんですけど、大志小学校と外町小学校から出ておることは確かめましたけど、そのほか、どこの小学校から何人出ているかは誰も知りませんでした。確かめることができませんでした。

いずれにしろ、今回は第1回でございましたけど、これを続けていきたいというのが出演者の意向でございまして、我々としても協力していきたいと思っております。

合唱組曲「唐津」の最後が「唐津市歌」でありますからね。立派な我々市民の歌があります。

24日、唐津市私立幼稚園・認定こども園理事長会兼第13回幼稚園運営に関する懇談会に出席しました。別紙②出席者名簿を見ていただきますと、市長も、最初の挨拶だけでほかの会場に移りましたが、市長も来てくれました。教育委員会からは、私と教育部長が出席しました。その下に記載されている方々が本来のメンバーで、そこに我々が呼ばれたということですね。

教育長報告が終わった後、部長に補足していただこうと思っておりますが、ここで僕が強く感じたのは、私立幼稚園、認定こども園側の少子化に対する危機感ですね。これから子どもがどんどんどんどん減っていく。たまたま年間の出生数が94万人とか出たこともあって、この理事会のときにはそれは出ていませんでしたが、とにかくこれから子どもが少なくなる。その少ない小さなパイを各私立幼稚園、認定こども園でいかに取り合うかというところがあって、もう唐津幼稚園、公立の幼稚園は必要ないじゃないかというのが彼らの意見ですね。

もう一つは、インクルーシブ教育を私立はもう既にやっておりますよと彼らは言っていました。その辺が僕とちょっと認識が違うところで、確かに障害を

持った子どもを預かっていることは事実です、私立がね。でも、僕に言わせれば、それは単に預かっているだけ。本当にインクルーシブでやっているかという、そうじゃなくて、この理事長会の代表が図らずも言いましたよ。自分たちは、ほっといたら危なくてしょうがないから、障害を持った子は、大事に大事にしているんだと。それでは、インクルーシブにはならないのではないかと言いましたら、それはそうだとしました。

25日、第53回教職員論文等表彰式及び発表会がありまして、これは別紙(3)でございます。

数年前までは2桁の応募があったんですよ。しかし、昨年辺りからぐっと減ったらしくて、今年は7点の応募しかありませんでした。そのうち1点は、昨年と全然進展がないもの、同じ発表者で全然進展がないからというので選外になりましたし、特選に値するものはないんだという結果でございました。したがって、入選が4、佳作が2ということです。玄海みらい学園は、3年連続応募したという学校賞を特別に受賞されました。

坂本委員さんには審査に当たっていただきまして、本当に御苦勞でございました。応募が7しかない、特選に値する価値の高いものがない。やっぱり現場の先生たちがいかに忙しいか、その反映ですよ。いかんともしがたいところではありますが、ここに出品して発表してくれた先生方は、それだけ努力の成果がまとまったということでございます。

一応、僕からはそれだけです。部長、補足をお願いします。

○教育部長（金嶽栄作君）

そうですね、先程教育長が言われました唐津幼稚園のあり方については、理事長会の見解はそういった意見でございます。また、議会でも後程報告しますが、議員さんのほうから廃園ではないのかという意見がでています。また、企画政策課の公共施設再編の中で、33%の公共施設費を減らす中でも民間か廃園かという方針を出されておりました、こちらとしては、幼稚園のあり方について委員会を設置し話し合いをしていますが、幼稚園存続ありき前提ではないんですね。やはりインクルーシブ、支援を要する子どもが増えてきていると。小・中学校の今の問題も、そういったところを醸成しなければいけないんじゃない

ないかという話をしております、先程、教育長も言われましたように、公的な立場の者と民間の人と相容れないところがございます。現在、専門的な方や、保健福祉部と話をしまして、全体の中でインクルーシブ教育なり、支援を要する子をどうやって支援していくか、ケアしていくかということをお話していきながら、考えていきたいと思っております。

以上でございます。

○教育長（稲葉継雄君）

それでは、教育長報告に関しましての御質問、御意見がありましたらお願いします。

ともかく、議会でも言われましたように、教育委員会と保健福祉部とよく協議をして、認定こども園という枠で考えて、少なくとも平成30年度いっぱい、そのための検討期間がほしいということにしております。

それでは、次の報告に参りましょうか。

12月市議会の報告につきまして、部長からお願いいたします。

○教育部長（金嶽栄作君）

12月市議会について報告いたします。

まず、議案質疑ですが、石崎俊治議員から新庁舎建設の環境整備費について質問がありました。

新庁舎建設に伴う文化財の確認調査の結果についてですが、議会棟に近いトレンチより近世から近代の建物礎石や大量の近世陶磁器が出土したということで、本調査を行うということになっております。

調査は4月以降かなと思いますが、その範囲と調査後の保存については、新庁舎建設の範囲とされる800平米が対象地で、調査後に結果を報告書にまとめ、記録保存しますということで回答しております。

続きまして一般質問です。2ページをご覧ください。

浦田関夫議員が、市職員と市教職員の多忙化解消についてお尋ねです。これは9月にも質問がございました。確認の意味で質問をされております。

まず、政府が出したガイドラインを受けた対応策はということですが、9月には現状を説明したんですが、今度、新しい業務記録票を作成しまして、それ

を平成30年4月から活用するようしております。これまでは、80時間以上の時間外勤務をした者を教育委員会に報告させていましたが、来年度からはそれらに加えて時間外勤務0時間、40時間未満、40時間以上、60時間以上の区分も対象に含めて対応していきたいということで答えております。

市教委が責任を持って把握するのかということについては、市教委が責任を持って把握しますということで回答しております。

3ページです。

教職員の多忙化の原因に研究指定校があるのではないかということについてですが、これも9月と同じ質問ですが、指定校となることで多少忙しくなるかもしれないが、これは授業の内容指導について、スキルアップをする上で必要であり、研究と修養に努める義務もあります。多忙化の背景については、生徒指導や教育相談、特別支援を必要とする児童・生徒の増加等を含めて、その辺が多忙化の原因になっておりますよと答えております。

スキルアップは勤務時間内に行うべきと考えているということですが、指定校が行うことは授業の改善であるので、勤務時間に行うものと考えているということで答えております。

4ページです。

教職員不足の現状と複式補助教員の現状についてですが、現時点で、県費の教職員は足りておりますが、複式補助教員については補充できていない状況で、本年度は10人の複式補助教員予定者に対して5人を任用しているということで答えております。

教職員不足の今後の方策については、適正な教職員数の配置を要望していくとともに、加配の定員化を要望していくと。また、複式補助教員については、人員確保に努めていきたいということで回答しております。

5ページです。

浦田議員が国道204号の改修工事についてお尋ねです。

万賀里川地区から切木小学校への通学路の安全対策はということですが関係機関と連携して合同点検を行っており、通学路における危険箇所については、認識しています。対応策については都市整備部が答えまして、早期に歩道等の

対応ができるように要望しているところです。

次に、6ページです。福島尚美議員です。

平和行政についてということで、平和学習の取り組みの状況はということですが、7月から8月にかけて平和を考える学習会や集会活動、人権集会等を行っています。また、修学旅行は、長崎、広島や鹿児島を知覧に行き、学習をしておりますということで答えております。

7ページです。

大西康之議員が、財政計画の変更についてお尋ねです。

財政計画を今度見直しまして、財政課が報告をしたんですが、そのときに市長公約と財政計画についてということで、一つは給食の無償化、それから、教室のクーラーの設置について公約がありましたので、教育委員会にその状況ということで聞かれております。

地産地消による給食の無償化については、例えば小学校1年生のみ実施した場合には約5,200万円必要と試算しています。平成31年度に向けて給食無償化の対応をしていきたいということで答えております。

また、全教室のクーラーの導入については、現在、小・中学校のエアコン導入計画を策定中ございまして、平成30年から平成37年にかけて、まず中学校から順次整備をしていくことを想定しておりますと答えております。

それから、9ページです。

宮本悦子議員は、子どもの学力向上についてお尋ねです。

これはよく議会でも聞かれますが、まず、市長に県下ナンバーワンの学力向上についての考え方をということでお尋ねです。唐津市教育大綱では知・徳・体の調和のとれた生きる力の学力を目指しておりますということで市長が答えておられます。

全国学力・学習状況調査の結果ということですが、この質問以降は、教育長が答弁されております。毎回答えておりますが、国、県の平均を下回っておりますが、差は縮まっておりますということで答えております。

今後の改善策ですが、唐津市全体の課題を分析し、研究指定校や全ての小・中学校へ示して、一層の学力向上を目指しますと。また、家庭学習の充実を図

りますということで答えております。

10ページです。

「主体的・対話的で深い学び」の教育委員会としての考え方と現状についてということですが、3年後に完全実施される次期学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められると述べられています。教育委員会としては、5年前から学力向上アクションプランを示し実施しておりまして、パーソナルワーク、グループワーク、クラスワークをして、「主体的・対話的で深い学び」による学力向上に取り組んでおりますと答えております。

中学校放課後等補充学習支援についてですが、現在、5校希望がございまして、一中、巖木中が英語、鬼塚中、湊中、西唐津中では数学を、総計177名が補充学習に取り組んでおります。

その成果について、生徒にアンケートをしたところ、意欲的に取り組んだ、よく理解できた等、8割以上の子どもが肯定的に回答しております。この結果をみますと、生徒たちは意欲的に学習に取り組んでおり、概ねこの事業の目的を達成していると考えています。

12ページです。

学校統廃合と地域コミュニティについて、山下壽次議員がお尋ねです。

まず、児童数・生徒数の推移ですね。そこに書いてありますが、合計で平成17年度と27年度を比べた場合、11.2%減っています。その中で、人口減少率が8.7%というのは議員が示されたものですが、それより、なお減っている地区が、巖木、相知、鎮西、肥前、呼子というふうに答えております。

それから、統廃合の実績と適正規模についてですが、平成17年度から28年度末までに17校の小・中学校が閉校しております。適正規模については、学校教育法施行規則第41条で、小学校の学級数は12学級以上18学級以下を標準とすると規定されています。中学校についても第79条において、小学校の規定が準用されておりますと答えております。

山間地や過疎地域の学校の統廃合についてということですが、これも平成19年度に通学区域審議会の答申を受けて、地域の方々の御理解をいただきなが

ら進めていきたいということで答えております。

次に、公民館活動はどうなっているのかということですが、社会教育法第20条による説明をしまして、各種講座の開催や自主サークル活動を行い、様々な地域活動を行う場として地域の核となる役割を果たしておりますと答えております。

次に、公民館の設置の状況ということですが、これはいつも答えることですが、市内に25館あり、旧唐津市内は小学校区を基本として16館を設置しています。旧郡部については、旧町村毎に中央公民館的な位置づけとして1館、鎮西地区だけは2つございまして、全部で9館を設置しています。

地域に求められる公民館活動はということですが、地域活動を担うマンパワーを育成するための社会教育事業を推進し、その活動の場として支えるのが公民館の役割であると、お答えしております。

人口の偏在化と社会教育施設についてということですが、人口減少や高齢化が進み、交通手段の問題等で公民館へ通うのが困難な方が今後増えてくることも予想されます。一方では、急激な人口増加に伴い、公民館の部屋が足りない状況となっている地域もあります。不均衡が出ていますので、社会教育委員会議で、公民館のあり方について話をしておりますが、その中で協議をしていきたいというふうに答えております。

小・中学校と地域の役割についてですが、教育により地域社会の将来を担う人材を育てる中核的な施設ということで小学校を位置付け、地域と密接に関わっており、保護者と地域住民の支えが必要と考えておりますということ答えております。

今後の統廃合の進め方については、地域住民の皆様と教育上の課題、まちづくりを含めた将来ビジョンを共有した上で、十分な理解と協力を得ていきたいというふうに答えておるところでございます。

16ページは、これは市長答弁です。

地域づくりと学校・社会教育についてということですが、今まで述べてきたように、公民館が地域づくりの拠点的役割も果たしていると。人口減少などで過疎化が進むところは、人材育成など社会教育を担う主体的な公民館活動や地

域づくりがますます重要になってくると考えられます。公民館活動と地域づくりの一体的な推進を図っていききたいということで、市長が答えられました。

続きまして、17ページ、林正樹議員です。教育についてということです。

まず、学力向上についてですが、これは、宮本議員の質問と同じです。市長が答弁を行っております。

次に、教育長の教育についての思いをお聞かせくださいということでお尋ねでした。今回、教育長は、競争と技術革新が絶え間なく起こる「知識基盤社会」の中で、幅広い知識と柔軟な思考力を身につけていくことが求められているということで、自ら課題を発見し、解決する能力、コミュニケーション能力等を育てていきたいと。

また、外国語教育については、外国語をよりよく理解するために、まず国語の力が重要であるということで、教育長から答弁をしていただいております。

次に、唐津市の小・中学校の現状及び生徒指導についてですが、唐津市でも生徒間暴力、対教師暴力、器物破損、いじめの発生等が課題になっています。問題行動への対応については、学校では、管理職のリーダーシップにより、校内的見回りや校内的指導体制、換言すれば、学校としてのチームワークを確立して問題行動に当たっておりますということで答えております。それに加えて、地域ぐるみで取り組みをするような体制を推進しております。特に問題があるところは、保護者や地域の方が学校訪問などをして、一体となって子どもを育てていくということで答えております。

今のうちからいじめに対応できる力を身に付ける必要があるのではないかと聞いてありますが、いじめ防止対策推進法に準じて、いじめの未然防止、早期発見、対応については各学校で取り組んでおります。困難に立ち向かい克服していくためには、自分の考えを相手に伝え、自分を律して、他人とともに協調し、思いやりの心を持って、生きる力を身につけさせていきたいということで答えております。

近年の子ども達は礼儀や倫理観が低下しているように感じるが、道徳観をどう捉え、指導していこうと考えているのかとお尋ねです。道徳教育では、人が互いに尊重し合い、協働して社会を形作っていく上で共通に求められるルール

やマナー、規範意識などを身につけることが大切だということ。道徳の時間がありますので、そういった指導を毎週1時間程行っておりますが、来年度から「特別の教科 道徳」が導入されます。学校だけでなく、家庭教育や地域の協力を得ながら、社会的なルールやマナーを学び、仲間を大切にする心を育てていきたいと考えているということで答えております。

次は、22ページです。進藤健介議員です。これは先程言いました唐津幼稚園の運営についてです。

まず、唐津幼稚園あり方委員会の検討状況についてですが、100周年を機に、その後のあり方を検討しました。「唐津市立唐津幼稚園あり方検討委員会」で外部委員による検討委員会を実施しました。そういった中で、もっと専門的な教育が必要だろうということ。公立幼稚園としての役割の明確化など、今後更に専門的な議論を行うという結論になりました。現在、2回目の専門家によるあり方検討会を開いておりますということで答えております。

園児の減少や行政改革の観点から検討されたはずだが、その観点を答申がでていないが、これは存続ありきじゃないのかとお尋ねです。存続ありきとは考えておりませんが、公的な幼稚園を残すということで、どのような役割を持つのか、財政的な部分も議論をさせていただいて、インクルーシブ教育についても、民間と今後も協議していきたいとお答えしています。この民間というのは、保育園とか、先程言いました理事長会も含めて協議していきたいということで答えております。

次に、廃園も視野に入れているのかということですが、まだ幅広く議論を行う必要があると。現在のところ、廃止は考えていないということで答えております。

今日時点での答弁は、唐津幼稚園の廃止はないということかということですが、議論の中で廃園が出てくる可能性もあるが、現時点では存続という方向性で検討しておりますということで答えております。

定員を減らしても4,000万円の赤字がでるので、財政当局と話しながら園のあり方を考えるべきではないかということですが、財政的にも唐津幼稚園の適正な規模かどうかを議論していく必要があるということで答えております。

また、インクルーシブ教育をすると人件費がかかるのではないかということですが、それについては、幼児教育の段階でケアをする必要があるということで、他の保育園・こども園と連携して全体の底支えをしないといけない。

適正な規模で、財政的には職員を1人増やすくらいでと考えていますとお答えしております。

次に、25ページでございます。伊藤一之議員です。子どもの貧困対策についてお尋ねです。

まずは、貧困対策の展開で、福祉関連との連携はということでございますが、これは教育長答弁でございます。

福祉との連携では、学校で把握できる情報について依頼があれば、個人情報等に配慮しながらも積極的に提供し、教育の支援を図ることが好ましいと考えていると答えております。

生活実態調査の現状と、調査を含めた保健福祉部との連携についてですが、佐賀県では毎年、朝食等の実態調査を行っておりまして、それによると10人に対して1.5人程度は朝食を食べていないことになる。福祉との連携については、このような情報も依頼があれば、積極的に情報を提供していきたいと話しておりまして、年明けにも、アンケート調査をしたいというふうに思っております。

次に、朝食を貧困世帯に提供したらということですが、これについては、朝御飯の実態調査をしていますが、朝御飯については家庭への啓発を行っていきたいとお答えしております。

次が27ページ、中川幸次議員でございます。いじめ防止の取り組みについてお尋ねです。

まず、いじめ解決を実践している現状や取り組みについてお尋ねです。いじめ防止対策推進法に基づいて、日々学校で対策を練っております。また、例としては、全国生徒会サミットで子どもたちがいじめについて協議しておりますということで答えております。

問題解決力をつける方策、未然防止、早期発見についてどのような取り組みをされているかということですが、生徒会が主導して行ういじめ撲滅運動を実

施しているところですが、道徳の時間や学級活動の中で、ロールプレイングや、アサーショントレーニングをして、生徒同士がいじめの認識や解決方法について考えております。定期的にアンケートも行い、いじめの未然防止、早期発見を行い、対策を行っているということで答えております。

授業後の評価の必要性ということですが、これは道徳の時間や学級活動の時間を使って、問題提起し、児童生徒の考える力を育てています。これまでは、授業後の評価は実施していませんでしたが、児童生徒一人ひとりが自ら考える力を育み、いじめ問題の防止や、解決ができるようになるためには、教師がしっかり評価することは大切なことだとお答えしております。この評価によって、教職員の道徳科の授業への意識も高まるなど教育改善が進み、児童生徒も、より積極的に自分を見つめ、他人を思いやる力を育て、いじめ問題等を自分たちで解決する力をつけてくれると期待したいとお答えしております。

それから、30ページ、伊藤泰彦議員です。部活動の指導員制度についてお尋ねです。

中学校の部活動の数ということで、運動部、文化部合わせて165あるということに答えております。

中学校の部活の状況ですが、概ね1日1～2時間、休日については、定期テストの前は3日から5日間休み、あとは週1回の休みとか、唐津市では、毎月第3水曜日を部活動一斉停止、また今回、県のほうからも毎月第3日曜日を県下一斉の部活動休養日と定めておりますということで答えております。

本市の外部指導者制度の歴史ということですが、うちでは20年程前からボランティア等で外部指導者の支援を受けているということで答えております。

外部指導者制度の状況についてですが、中学校は11校で延べ26人の外部指導者を運動部活動において活用している状況でございます。

部活動指導者制度の考えと他市の部活動指導者の状況ということで、学校に求められる役割が拡大する中、教員の働き方改革も課題とされています。生徒にとって専門性の高い指導が受けられるなど、いい面もございますが、技術偏重、勝利至上主義も懸念されるので、慎重に対応していきたいと答えております。

今後の取り組み・方向性はということですが、部活動の指導員制度を定着させるためには、指導者の確保と財政の確保が絶対条件とされているわけですが、指導員さんの研修、それから、指導員に係る法的整備をして、この課題については慎重に検討を重ねていきたいと考えていると答えております。

次に、33ページです。古藤宏治議員です。学校給食の無償化と地産地消についてお尋ねです。議員さんから何度も聞かれましたが、給食費の保護者の負担ですが、小学校が47,000円ぐらい、中学校が約55,000円ということで答えております。

給食無償化実施状況について、県内では太良町、上峰町、江北町が完全無償化、一部助成が伊万里市、みやき町、大町町、白石町ということで答えております。

無償化を実施する場合の経費と問題点について、年間経費については、約5億円必要と試算しており、財源確保という大きな問題があります。一中、五中のみが完全給食に対する課題がございますということで答えております。

給食無償化の検討状況について、先程、大西議員にも答えましたが、小学校のある特定の学年を対象に平成31年度からの実施に向けて検討を行っておりますと答えております。

地産地消推進については、県内産が69.1%ということで、県内平均42.5%を上回っておりますということで答えております。

学校給食の地産地消推進については、食育の推進ということで、地産地消への意識を高めたいということで答えております。

以上でございます。

○教育長（稲葉継雄君）

どうもありがとうございました。

ただいま報告のありました12月市議会の答弁に関しましてご質問がございましたら、どうぞお願いいたします。

○教育委員（富永祐司君）

進藤議員の唐津幼稚園の4,000万円の赤字というのは、どのぐらい長期間の赤字なのか。

○教育部長（金嶽栄作君）

1年間です。1年間の経費が4,000万円です。

○幼稚園長（加茂律子君）

運営費が4,000万円です。

○教育部長（金嶽栄作君）

人件費ですね。そのうち、交付税で2,000万円は唐津に入って来ているんです。議員さんの中でもいろんな考えがあって、人件費は赤字ではないんじゃないかという考え方の方もあります。進藤議員は、とにかく赤字だから廃園にしろという意見です。

○教育委員（富永祐司君）

いや、4,000万円と出ているので、どういう数字かなと思って。

○教育長（稲葉継雄君）

実質持ち出しは2,000万円であるということは、進藤議員も十分御存じなんですよ。それでも、そのことを絶対言わなかったですね。

○教育委員（森田 淳君）

センセーショナル、4,000万円という数字を言うたほうが、皆さんがびっくりするからですね。

○教育長（稲葉継雄君）

そうです。財政の論理で押されたら、これはどうしようもない。実際、金がかかりますのでね。いかに我々が対抗するかということで、市会議員大多数がそんな金はもう出せんということになればどうしようもないです。

○教育委員（富永祐司君）

いじめ問題に対する質問が結構あるようですが、だから人権教育をどんどん進めなくてはいけないということをもっと答弁で言ってほしかったなと思いました。

○教育部長（金嶽栄作君）

はい。

○教育長（稲葉継雄君）

それは、いつかは覚えませんが、言ったことありますね。大体似たような質

問が何回も違う議員さんから出てくるので。

○教育委員（富永祐司君）

新人の議員さんが質問していますね。

○教育部長（金嶽栄作君）

はい。

○教育長（稲葉継雄君）

日本中を見渡すと、佐賀県はいじめの認知数が一番少ないですね。異常に少ないから、もっとアンテナを高くして認知をなさいと言われて、それでもそう多くはないですけども、前に比べたら認知の数は増えてきました。それほど、より神経を使って、覚知まで逃さずに、芽のうちに認知して対処していこうとしているわけですね。

○教育部長（金嶽栄作君）

先程、進藤議員さんの唐津幼稚園の話がございましたが、関連ですが、相知図書館の問題で、相知の市民センターに集約して新しく建て直す話の中で、現在、横に相知図書館があり、それをどうするかということで、教育委員会としては、図書館としてセンターの中に入れたいということですが、公共施設再編室の考え方は、全市で図書館は一つだというんです。ですから、今、そのやりとりをしているんですね。

唐津幼稚園と一緒に、非常にその辺の公共施設の再編が大きな課題になって、その中で教育部門については、手を尽くして、今話をしているところでございます。

また後で補足があったら、図書館なり相知センターから話があると思いますが、そういった状況で今協議しているところでございます。

○教育長（稲葉継雄君）

ほかに市議会に関する御質問はございませんか。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（稲葉継雄君）

それでは、次の報告に参ります。

竹木場小学校用地の一部の移管につきまして、教育総務課からお願いします。

○教育総務課長（栗原達也君）

教育総務課です。2ページをお願いいたします。

報告事項②、学校用地の一部の移管についてということで表題を上げております。

まず、概要につきましては、唐津土木事務所から竹木場小学校の学校用地の一部を県道肥前呼子線の法面保全用地として利用したい旨、財産管理課へ譲渡申請書が提出されています。当該用地については、法面で学校運営上支障がない場所であり、今後学校として使用する予定もないため、用地を財産管理課へ移管し譲渡するものということでございます。

次に、移管する土地については、竹木場小学校用地の一部で、面積は187.85平米です。

所在地は、唐津市竹木場字入江5576番17、地目は学校用地、台帳面積は1万4,018平米、その内の187.85平米です。財務部財産管理課に移管をしたいということです。

場所につきましては、別添の資料でカラーの資料をつけておりますけれども、竹木場小学校は左側の赤い太い線のところです。現地といたしましては、山林部分になります。学校の用地には影響はない部分でございます。

なお、この資料は内部資料の専用の資料でございまして、外には出さない運用しておりますので、非公開のほうでお願いしたいと思っております。

そして、3番目の手続についてでございます。

唐津市公有財産規則第9条の規定による平成28年12月19日付の公有財産引継書により財産管理課へ管理替済みと記載していますとおり、大変申し訳ございませんが、手続のほうは既に終了しております。

移管事務の推移につきましては、平成28年11月18日付、唐津土木事務所長から市長宛に市有財産譲渡申請書というのが来ております。これによって財産の譲渡をお願いしたいという文書でございます。

続きまして、平成28年12月6日付で、財産管理課長のほうから教育総務課長宛に市有財産の用途廃止及び財産の引き継ぎについてという照会文書が来ております。

この文書の内容といたしましては、ただいま説明した土地の用途廃止が可能である場合は用途廃止事務を進めてくれということと、用途廃止後は普通財産として財産管理課に引き継ぎを行ってくださいということです。なお、用途廃止ができない場合は、その旨回答をお願いしますという照会文書でございます。

この文書を受けまして、市有財産学校用地の用途廃止についてという伺い文を作成して、平成28年12月12日付で市長の決裁を受けております。

内容といたしましては、当該土地を調査したところ、学校敷地外の山林であり、用途廃止しても学校運営上支障がないため、用途廃止をしたいという内容でございます。

そして、平成28年12月19日付、公有財産引継書によりまして、教育総務課から財産管理課へ学校用地の管理替を終了したということでございます。

唐津市教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任し、又は臨時に代理させる規則の第2条では、重要な教育財産の取得処分を申し出ることは、唐津市教育委員会の権限に属する事務とされており、本来ならば、教育委員会にお諮りした後、市有財産学校用地の用途廃止についての伺いをするべきでしたが、手続をしないまま事務を進めておりました。

本年度の市の定期監査により指摘があり、今回の事後報告という形になったということでございますが、このことにつきましては、大変申し訳なく、深く反省をしているところでございます。

今後は、規則等について認識の共有化と徹底化を図り、適正な事務の遂行に努めていきたいと思っております。

報告事項の説明につきましては、以上でございます。

○教育長（稲葉継雄君）

どうもありがとうございました。

ただいまの報告に関する御質問はございませんか。よろしいですかね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（稲葉継雄君）

それでは、次の報告に参ります。

学校教育に関する諸報告につきまして、学校教育課からお願いします。

○学校教育課長（佐々木講吉君）

学校教育課です。学校に関する個別の案件については、秘密会議のほうでお願いできればと思っております。

○教育長（稲葉継雄君）

それでは、後程、改めてよろしく申し上げます。

次に近代図書館から申し上げます。

○近代図書館長（橋爪伸子君）

近代図書館です。チラシをご覧ください。

リサイクルブックフェアについてです。毎年行っているイベントで、学習室の利用が少ないときに開催しております。寒い時期ですが、1月14日日曜日午前10時から午後3時まで、本がなくなり次第、終了いたします。4階の会議室に並べて、保存期間が過ぎたものや雑誌などを提供いたします。寒いですが、毎回盛況です。

次は、M a t s u - n a m i 展についてです。M a t s u - n a m i という5人のグループですが、今回は4人の出展です。若手で、唐津市内で活躍されている画家の展示会です。これは、近代図書館の美術ホールを有料での貸し出しということで、使用料をお支払いいただいて、開催する美術展になっています。県展などで活躍されている実力のある方たちです。唐津若者画家の絵画展ですので、おいでいただければ幸いです。1月17日水曜日から1月21日日曜日まで、1階の美術ホールで開催いたします。どうぞよろしく申し上げます。

○教育長（稲葉継雄君）

ありがとうございました。

ただいまの近代図書館からの報告につきまして、御質問はありませんでしょうか。

1月14日のリサイクルブックフェアですけどね、かなり歴史がありまして、僕の孫なんか、本当楽しみにしております。結構掘り出し物もあるんですよ。皆さんもぜひお出かけください。

次に参ります。

共催及び後援につきまして、教育総務課から申し上げます。

○教育総務課長（栗原達也君）

教育総務課です。共催及び後援についてでございます。4ページをお願いいたします。

今回は、共催及び後援について10件、上がっております。内訳につきましては、共催6件、後援4件ということになっております。

行事名等詳細につきましては、一覧表をご覧いただきたいと思っております。以上です。

○教育長（稲葉継雄君）

今回は教員関係の行事が多いものですから、共催が多いですね。何か御質問はございませんか。

最後の134番、唐津地区明るい社会づくり運動推進協議会の教育講演会、これは罪を犯した人たちの更生を助けるような人たちが中心で、会長さんが元教育長さんですから、僕はこれにいつも行っておりますが、皆さんもよろしければお出かけください。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（稲葉継雄君）

では、お認めいただいたことにします。

次に、教育委員会行事予定です。教育総務課からお願いします。

○教育総務課長（栗原達也君）

教育総務課です。議案集5ページをご覧ください。教育委員会の行事については記載のとおりです。

以上です。

○教育長（稲葉継雄君）

何か御質問はございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（稲葉継雄君）

次回の定例教育委員会の日程でございます。第4木曜日、1月25日午後2時からということです。御都合はよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○教育長（稲葉継雄君）

それでは、ここで全体会を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。